

あなたが、
誰かの
船になる。

女性たちに、生き抜く力を。

日本女性財団



Japan
Women
Foundation



すべての女性が
健康で生きやすく、活躍できる社会を目指して

医療・福祉・政治・経済が連携し、女性を包括的に支援します。

私たちの活動は、
女性たちを包括的に支援する社会をイメージし、フェムシップと呼んでいます。



japan-women-foundation.org

ご挨拶

女性の生涯のWell-beingの実現に向けて、草の根から包括的に社会を動かします

女性を包括的に支援する社会を目指して、フェムシップ活動を展開します。

代表理事
対馬 ルリ子

産婦人科医
女性ライフクリニック銀座・新宿
理事長



日本女性財団は、コロナ禍の2020年に、家庭や地域で分断されて困っている女性や女の子たちのためにそれぞれができることをつなげようと、医療者や支援者たちが立ち上がったことから始まりました。UNWomen(国連女性機関)から、世界各国の女性たちの分断されたリスクに関して、注意喚起がなされた年でした。

そして、I.女性たちの現状を知る活動、II.女性支援を横に広げる活動、III.情報とデータをもとに政策提言をする活動の3つを柱として、女性の身体的・精神的・社会的ウェルビーイング支援に取り組んでまいりました。

2025年は6期目を迎えます。世界情勢がますます厳しくなり、国内の政治も混迷を極め、女性や子どものウェルビーイングがますます脅かされている状況のなか、私たち日本女性財団は、女性の立場からみた政策・制度を政治に求めながら、医師や医療者、行政、支援者、企業など有志が力を合わせて、女性や子どもなど経済的政治的な力をもたない存在こそ、未来にむけたもっとも大切な存在と位置づけて、社会を再生しようと活動しています。

ぜひあなたも、あなたのもっている力を、皆の生きる力のために、シェアしていただきたいと思います。

● 理事



対馬 ルリ子(代表理事)
産婦人科医
女性ライフクリニック銀座・新宿
理事長



内田 容子
会社代表
総合電機メーカー
広報・PR職（現職）



森田 敦子
株式会社サンレイ・
インターナショナル
代表取締役



北條 裕子
株式会社 SouGo
代表取締役社長



稲田 龍介
会社役員



上野 千鶴子
社会学者 東京大学名誉教授
認定NPO法人 ウィメンズ
アクションネットワーク(WAN)
理事長
〔撮影 後藤さくら〕



関口 由紀
泌尿器科医
女性医療クリニック
LUNAグループ
理事長



高宮城 直子
産婦人科医
Naoko女性クリニック
院長



落合 香代子
一般社団法人ママリングス
代表理事
一般社団法人ポジティブ・
ディシプリン
コミュニティ理事



佐々木 恵美子
コセキ株式会社
取締役
NPO法人 SOLO
理事長



笹尾 敬子
日本女性ウェルビーイング学会
代表
国立健康危機管理研究機構
顧問

● 評議員



奥田 浩美氏
株式会社ウィズグループ
代表取締役



小巻 亜矢氏
株式会社サンリオ
エンターテイメント
代表取締役社長



田瀬 和夫氏
SDGパートナーズ有限会社
代表取締役CEO



池上 清子氏
公益財団法人
プラン・インターナショナル・ジャパン
理事長



吉村 泰典氏
慶應義塾大学 名誉教授
新百合ヶ丘総合病院 名誉院長



高階 恵美子氏
衆議院前議員



大須賀 穂氏
帝京大学臨床研究センター
教授、センター長
東京大学 名誉教授
帝京大学医学部産婦人科学講座
特任教授

Action

私たちは、3つのテーマで活動します

I 女性たちの現状を知る活動

フェムシップドクターや支援団体が、現場で女性たちの救済に取り組みながら
その現状について調査、記録しています。

**すべての女性が健康で生きやすく、
活躍できる社会を目指す**

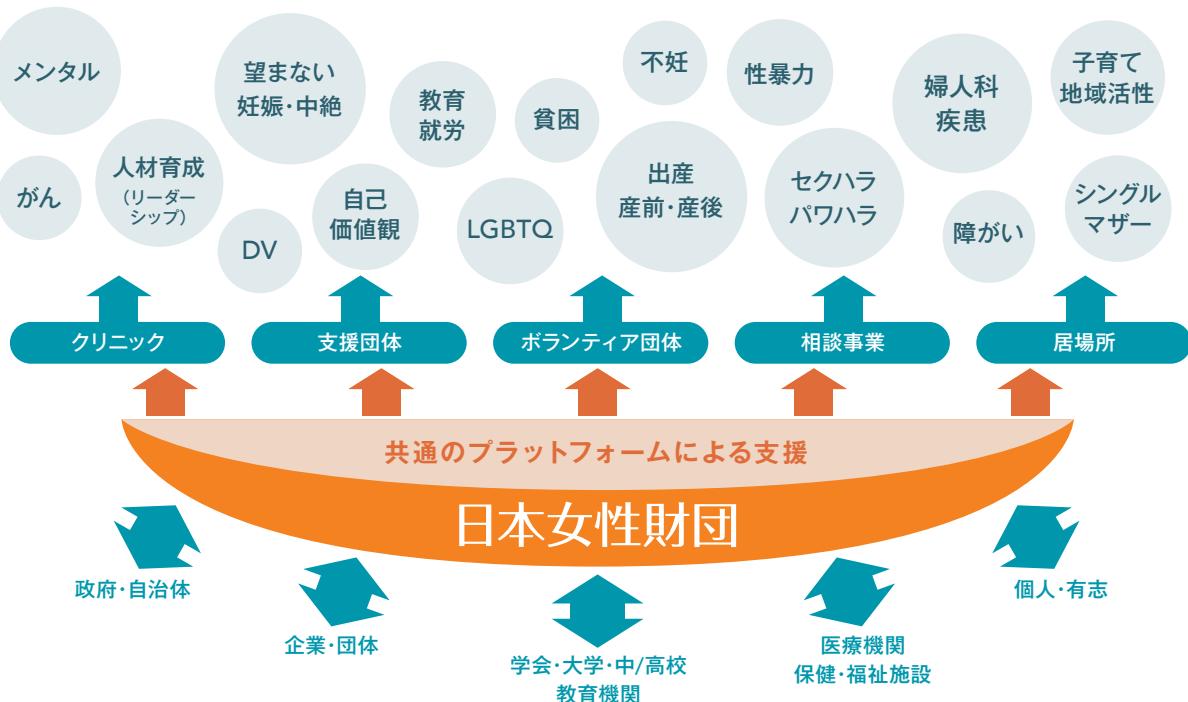
II 女性支援を拡げる活動

すでに女性支援を行っている団体・組織・個人と連携し、
全国各地にプラットフォームを構築し、
横連携するしくみをつくっています。

III 情報・データを集め政策提言する活動

女性たちの実態やデータを収集し、
政府や自治体をはじめ、社会に具体的な提言を行います。
より良い社会システム構築に向けた活動です。

- 日本女性財団は、
- I 現場で取り組みながらその現状について調査し報告します。
 - II 各分野や各目的で女性支援を行っている団体・組織・個人と連携し、
全国各地にプラットフォームを構築し、横連携することによって、女性支援の質と量を高めます。
 - III 得られた課題の情報やデータを政府や自治体の長に伝え、女性政策の提言をします。



I 女性たちの現状を知る活動

フェムシップドクターや支援団体が、現場で女性たちの救済に取り組みながら
その現状について調査、記録しています。

Action 1 フェムシップドクターズ(女性を支援する医師)をふやす活動

フェムシップドクターズ®とは、日本女性財団の趣旨に共感し、女性支援を行うことに賛同くださった医師または国家資格を持ち、当該職務にて活動実績のある医療従事者の総称です。

2025年現在、全国で199名のフェムシップドクターが活躍しています。

(2026年より会費制)。※1

フェムシップドクターズへの関心を高め、2024年1月と2025年1月に養成講座を開催し、以降オンデマンド研修を常に受講できるような活動を実施。

※1 2025年11月現在



フェムシップドクターズ養成講座

Action 2 女性や女の子が相談しやすい窓口(医療施設、ユースクリニックなど)を増やす活動

すでに活動している医療施設や福祉・支援窓口を登録し紹介します。女性たちがどこに相談しても有効につながって解決にたどりつけるよう、地域で顔が見える連携をした相談窓口を増やします。また、キーパーソンたちが動きやすいように、プラットフォーム構築と事務局機能の支援をします。



全国の相談窓口

<https://japan-women-foundation.org/doctordlist/#drlist>



Action 3 経済的に困窮する女性への医療支援

フェムシップドクターたちの裁量により、さまざまな条件たとえば居住地域や身分証明、経済状態の証明を必要とせずすみやかに必要な支援につなげるようにしています。財源はクラウドファンディングおよびフェムシップドクターズからの年会費等によって調達しています。

超音波検査	78	その他検査	57	処置	27	経口中絶薬(寄附23.06-)	26	性交痛、尿失禁、便失禁、GSM	24
性感染症検査	107	ビル処方	295	アフタービル	52	MVA製品(寄附23.07-)	5		
血液検査	18	ミレーナ挿入料	13	妊娠検査	23	診断書	3	その他	144
子宮がん検査	22	処方	117	中絶手術	30	転居、施設支援	4	累計	1045

(2021.9～2025.5現在)

II 女性支援を拡げる活動

すでに女性支援を行っている団体・組織・個人と連携し、全国各地にプラットフォームを構築し、横連携するしくみをつくっています。

Action 4 女性を支援する地域プラットフォームの構築

医療・福祉・政治・経済が連携する当財団の活動がWAM(独立行政法人福祉医療機構)のモデル事業として採択され、地域全体で女性たちを支援するプラットフォームを開設しました。全国13ヶ所(岩手、東京、秋田、岡山、沖縄、中部など)にあるプラットフォームを拠点とし、各地域の女性支援団体45団体が連携し、全国にネットワークを展開しています。

DVや性被害など、女性を取り巻く社会問題の解決を図るために、女性たちの課題に合わせて、適切な解決の場につなげます。

団体同士や自治体、専門機関などとの情報交換、勉強会も開催しています。



Action 5 女性支援団体・協力企業・政治家との交流、自治体との関係強化、連携団体への支援

日本の女性たちを助け、その見えないニーズをくみあげ、企業活動や製品づくりに生かしたい

企業の皆様方が、法人会員として財団をささえてくださっています。

2024年より企業プラットフォームを構築し、いっしょに社会活動・企業活動をしてゆく計画をすすめています。財団の理事と企業との個別の企業内啓発、健康相談、事業相談なども可能です。

2025年は全国に先駆けて、青森市とのパートナーシップ協定である「女性のウェルビーイング推進に関する連携協定」を締結し、特別記念講演を開催しました。



青森市と協定締結



フランス病院見学



Action 6 フェムシップドクターズ養成講座

地域の支援団体や行政と連携して、女性や女の子たちの医療支援をするフェムシップドクター・フェムシップサポーターを養成する活動

これまで、性暴力被害対応、DV被害女性への支援、思わぬ妊娠や性感染症に悩む女性、女性特有の体調変動等について、大学や大きな病院に所属する医師や医療職は、そのニーズについて学ぶ機会はありませんでした。しかしコロナ自粛以降、家庭や学校、職場など閉ざされた関係内で起きていた暴力や搾取に対する支援が必要になっている現状を踏まえ、医療者も、行政や支援団体と横連携して、敷居の低い医療支援をするため、学ぶ機会を提供しました。



フェムシップドクターズ研修



日本赤十字秋田看護大学研修

お申し込み先:
フェムシップドクターズ養成講座



Action 7 女性が安心して集える居場所の提供 フェムシップハウス事業

困った状態に陥っている女性や女の子が、相談したり、休んだり、一時的に身を寄せることができるフェムシップハウスを各地に開設しています。医療や行政、メンタルケア、ヘルスケアにつながり、からだと心と生活の自立ができるように、医療者や支援者が支援をつなげます。

第1号:青森県八戸市 白銀ハウス（シェアハウス、民泊、レンタルルーム）2022年
第3号:静岡県富士市 れんげそう（自立支援ホーム）2024年



III 情報・データを集め政策提言する活動

女性たちの実態やデータを収集し、政府や自治体をはじめ、社会に具体的な提言を行います。より良い社会システム構築に向けた活動です。

Action 8 活動報告会・イベント開催

3月 フェムシップドクターの日

毎年、東京都江東区カミイドクロックで、地域住民や支援者のみなさんには、子どもや女性が頼りにできる医師たちを知っていただくイベントです。



「国際女性デー関連チャリティイベントWings to fly」六本木ヒルズ

女性のウェルビーイングをテーマに100名以上の参加者と10社以上の協賛企業の参加をいただき多数のウェルビーイングリーダーを任命しました。



8月 フェムシップの日(8月20日)／女性支援・Well-being Award 2025

設立5周年に際し、日本初の「女性支援・Well-being Award 2025」を開催、女性支援活動を推進しました。

11月 「フランスの女性医療から学ぶ～思春期・産前・更年期の女性の健康を守り、活躍し続けるために～」を開催しました。

Action 9 政策提言

女子の健康課題解決にむけて、現場から政策制度の提案をしています。

・自民党本部政務調査会「女性の生涯の健康に関するプロジェクトチーム」にて政策提言を行いました。

自民党政調への提言(2024年5月)

提言1.女性のウェルビーイングのための環境作り 提言2.子ども若者包括健康支援センターの創設
この提言により、女性の包括的健康支援【からだの自己決定権と性の尊厳(SRHR)】を加速させています。



Action 10 各団体・組織・企業との関係

イベント「人と地球に優しい政治をもとめて～私たちのウェルビーライフ～」共催: ウィメンズヘルスアクション実行委員会

調査「全国女子高校生調査報告 女子高校生の声 自分のからだ」共同調査:ガールスカウト日本連携

共同研究「妊娠中出産後の母体の健康トラブル実態調査 #一人万ママの声を聞かせて」共催:NPO法人ReMind

学会主催「第六回 日本産前産後ケア子育て支援学会」主幹:東京大学伊藤謝恩ホール

共同発表「妊産婦を孤立させない!家庭用エコーを使った妊産婦の不安解消、うつ予防に関するアンケート」共催:株式会社Border

受賞「第1回 SDGs JAPAN SCHOLARSHIP岩佐賞」医療の部 受賞

助成金 令和4年、5年、6年度WAM事業「困窮する女性たちを救済するフェムシップドクターのインフラ構築」

寄付金「第20回FIT チャリティ・ラン(2024年度)」



いろいろな支援のカタチがあります

日本女性財団は、皆様のご寄附・ご支援・会費で成り立っています。
ご寄附と協賛金などは、女性たちのための活動に活用させていただきます。



法人会員

Femship Partner

法人は、年会費制です。 ● 30万円・50万円・100万円・300万円

30万円／会の趣旨に賛同する企業様

50万円／会の趣旨に賛同し、共に活動する企業様

100万円／会の趣旨に賛同し、共に学習機会や活動に参加する企業様

300万円～／会の趣旨に賛同し、共に学習の機会や活動、研究や開発などに取り組む企業様



個人会員

Femship Supporter

個人の皆さまからのご寄附も承っております。ご寄附いただく際に「個人会員」として登録され、

財団からニュースやイベントなどのご案内を受け取ることができます。

企業にお勤めの方も個人会員としてご登録・ご寄附いただくことが可能です。

1. 定額のご寄附

● 每月 1000円・2000円・3000円・5000円・10,000円

毎月の自動決済です。

◎各種クレジットに対応しております。

※定額のご寄附が、毎月理事会で報告されます。



● 年額 30,000円・50,000円・100,000円

毎年の自動決済です。

◎各種クレジットに対応しております。



2. 都度のご寄附

● いつでもご希望の金額でご寄附を承ります。

※都度のご寄附が理事会で報告されます。



*一般財団法人のため、寄附控除は適用されません。

日本女性財団ホームページ

女性たちに、生き抜く力を。



<https://japan-women-foundation.org>



femship.jpのご案内

#femship



<https://www.femship.jp/>



● お振込先

● 財団との連携、各種登録、ボランティア、取材などのお問い合わせ

みずほ銀行 銀座中央支店

普通 3057005

一般財団法人日本女性財団

口座へ直接お振り込みされた場合は、事務局にご一報願います。

TEL: 03-5219-1513

メール: info@japan-women-foundation.org



TEL: 03-5219-1513

メール: info@japan-women-foundation.org



一般財団法人 日本女性財団

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1

大手町ファーストスクエア イーストタワー4階